

請願第1号

地域経済を支える小規模事業者等へのインボイス制度の影響把握を求める請願書

(請願趣旨)

物価高騰、資材価格の上昇、人手不足、賃上げへの対応などにより、中小企業・小規模事業者・個人事業主を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。特に、価格転換が十分に進まない事業者にとっては、仕入れや人件費の状況が経営を圧迫する大きな要因となっています。

こうした中、2023年10月からインボイス制度が開始されました。制度開始により、これまで免税事業者であった小規模事業者やフリーランスの中には、取引継続のために課税事業者となり、新たに消費税の申告・納税や事務負担を負うことになった方もいます。また、免税事業者のままの場合でも、取引先との関係において、他交渉や取引継続への不安を抱える声があります。

帝国データバンクの調査では、2025年度休廃業・解散は67,949件で、過去10年では2024年について2番目に多い水準とされています。休廃業の背景には、後継者不足、物価高、人手不足、収益悪化など複合的な要因がありますが、小規模事業者の経営環境が厳しい状況にある事は明らかです。

また、「インボイス制度を考えるフリーランスの会」が2025年に実施した調査では、制度を開始後の消費税負担や事務負担、価格転嫁の困難さについて、多くの事業者から声が寄せられています。

地域経済は、市内で働く中小企業・小規模事業者・個人事業主・フリーランスの方々によって支えられています。インボイス制度による影響について、流山市としても、地域の実情を把握し、必要な支援や国への働きかけにつなげることが求められます。

こうした理由から、以下の事項を請願します。

